

2章

いろいろな撮りかた・再生をしたとき

ダイレクトプリントで印刷する.....	42
いろいろな撮りかた.....	47
連写で撮る.....	73
動画を撮影・再生する.....	77
音声を記録・再生する.....	79
再生モード時のその他の機能.....	81

ダイレクトプリントで印刷する

ダイレクトプリント機能について

ダイレクトプリント機能は、カメラとプリンターを直接USB ケーブルで接続して、カメラ内の静止画をプリンターから印刷する機能です。撮影した静止画を、パソコンを使わずに手軽に印刷できます。



注意

- ・ 動画 (.AVI) は、印刷できません。音声付き静止画 (.JPG と .WAV) の場合には、静止画 (.JPG) のみ印刷されます。
- ・ 文字モード画像 (TIFF) は、ご使用のプリンターによっては印刷できない場合があります。また、印刷できても印刷内容は保証できません。



メモ

- ・ 本カメラでは、ダイレクトプリントの統一規格である PictBridge (ピクトブリッジ) を採用しています。
- ・ ダイレクトプリント機能を使うには、プリンターが PictBridge に対応している必要があります。ご使用のプリンターの説明書でご確認ください。

カメラとプリンターを接続する

カメラとプリンターの接続には、付属のUSBケーブルを使います。

1. カメラの電源がオフになっていることを確認する
2. プリンターの電源がオフになっていることを確認する
プリンターには用紙をセットして、印刷できる状態にしておきます。
3. 付属の専用USBケーブルの一方をプリンターのUSBポートに接続する
4. 付属の専用USBケーブルのもう一方を、カメラのUSB端子に接続する
5. プリンターの電源をオンにする

メモ

カメラとプリンターの接続を外すときには、カメラとプリンターの電源がオフになっていることを確認し、USB ケーブルをカメラとプリンターから外してください。

静止画を印刷する

PictBridge 対応プリンターへ、カメラから静止画を送り、印刷することができます。

SD メモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリー内の静止画が印刷され、SD メモリーカードをセットしているときには SD メモリーカード内の静止画が印刷されます。

注意

印刷が完了するまで、USB ケーブルを外さないでください。

メモ

送信中に「プリンターエラー」のメッセージが表示された場合には、プリンターの状態を確認し、印刷できる状態になるように対処してください。


1 枚またはすべての静止画を印刷する

1. プリンターが印刷できる状態であることを確認する

「接続待ち」画面が表示されます。

2. ADJ. ボタンを押す

「接続中」画面が表示されます。プリンターとカメラが接続されると、ダイレクトプリント再生モードの画面が表示されます。プリンターによっては、ADJ. ボタンを押さなくても自動的に「接続中」画面になる場合があります。

 接続待ち...

ダイレクトプリントを行う時は [ADJ.] キーを押してください

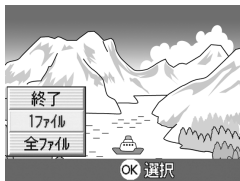
3. ◀▶ ボタンで、印刷したい静止画を表示する

4. ADJ. ボタンを押す

5. ▲▼ボタンを押して、[1ファイル]または[全ファイル]を選ぶ

6. OKボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューが表示されます。



7. ▲▼ボタンで項目を選び、▶ボタンで詳細項目を表示する

選択できる項目がない場合は、▶ボタンを押しても詳細項目は表示されません。



選択できる項目は次の6つです。

項目名	働き
用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。
用紙種類	用紙の種類を設定します。
レイアウト	1枚に何コマ印刷するかを設定します。
日付印字	日付（撮影日）の印字の有無を設定します。日付の書式は、SETUPモードの日時設定で設定した書式になります。
ファイル名印字	ファイル名を印刷するかどうかを設定します。
印刷補正	画像データ（静止画）をプリンター側で最適化して印刷するかどうかを設定します。

8. ▲▼ボタンで詳細項目を選び、OKボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューに戻ります。

9. 手順7.と8.を繰り返して、変更したい項目の値を変更する

10. OKボタンを押す

静止画がプリンターに送られ、「送信中」画面が表示されます。

送信を中断したい場合には、MENUボタンを押してください。

送信が完了すると、カメラはダイレクトプリント再生モードの画面に戻り、プリンターで印刷が開始されます。



複数の静止画を印刷する

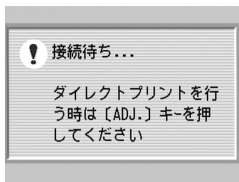
1. プリンターが印刷できる状態であることを確認する

「接続待ち」画面が表示されます。

2. ADJ.ボタンを押す

「接続中」画面が表示されます。プリンターとカメラが接続されると、ダイレクトプリント再生モードの画面が表示されます。

プリンターによっては、ADJ.ボタンを押さなくても自動的に「接続中」画面になるものがあります。



3. [サムネイル表示]ボタンを押す

画面が6分割されて、静止画が縮小して表示されます。

4. ▲▼◀▶ボタンを押して、印刷したい静止画を選ぶ

5. OKボタンを押す

6. ▲▼ボタンを押して印刷枚数を指定する

▲ボタンを押すと枚数が増え、▼ボタンを押すと枚数が減ります。

7. ◀▶ボタンを押して印刷したい静止画を選ぶ

8. ▲▼ボタンを押して印刷枚数を選ぶ

9. 手順7.と8.を繰り返して、印刷したい静止画をすべて選択して、印刷枚数を指定する

10. MENUボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューが表示されます。

11. ▲▼ボタンで項目を選び、▶ボタンで詳細項目を表示する

選択できる項目がない場合は、▶ボタンを押しても詳細項目は表示されません。選択できる項目については、P.44をご覧ください。



12.▲▼ボタンで詳細項目を選び、OKボタンを押す

ダイレクトプリントのメニューに戻ります。

13.手順11.と12.を繰り返して、変更したい項目の値を変更する

14.OKボタンを押す

静止画がプリンターに送られ、「送信中」画面が表示されます。

送信を中断したい場合には、MENU ボタンを押してください。

すべての静止画の送信が完了すると、カメラはダイレクトプリント再生モードの画面に戻ります。



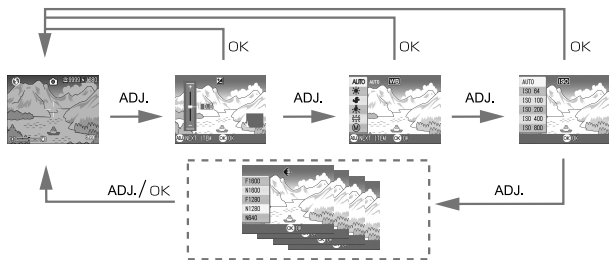
メモ

- ・プリンターのマーク (🖨️) が表示されている画像が印刷されます。印刷を中止した場合はプリンターのマークの表示を確認してください。
- ・1枚の用紙に、同じ静止画を複数枚印刷することもできます。
- ・選択できる項目はプリンター側の機能により異なります。
- ・詳細項目で「プリンター指定」を選ぶと、プリンター側の設定値（初期値）で印刷されます。

いろいろな撮りかた

ADJ. (アジャスト) ボタンの使いかた

ADJ. ボタンを使うと、少ないボタン操作で、露出補正、ホワイトバランス、ISO 感度の設定ができます。また、ADJ. ボタンには、露出補正、ホワイトバランス、ISO 感度以外の機能を登録することができます。使用頻度の高い機能を登録しておけば、少ないボタン操作で設定ができるようになり、便利です。



機能を登録する操作は、セットアップメニュー(P.97)で行います。

ADJ. ボタンで設定できる項目

SCENE モード、動画モード時には、ADJ. ボタンで設定できる項目が異なります。

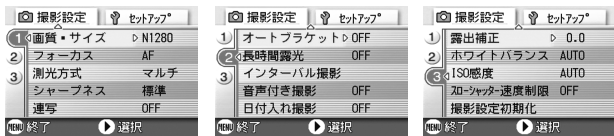
静止画モード	露出補正、ホワイトバランス、ISO 感度
動画モード	ホワイトバランス
SCENE モード [文字]	文字濃度
SCENE モード [文字] 以外	露出補正、ホワイトバランス

参照

- ・ 露出補正 → P.50
- ・ ホワイトバランス → P.51
- ・ ISO 感度 → P.53
- ・ 文字濃度 → P.54
- ・ ADJ. ボタンに機能を設定するには → P.97

撮影設定メニューについて

撮影設定メニューを使うと、次の表にある項目を設定して、撮影することができます。



※下表の選択肢の内、[] 囲みを付けている値は、購入時の初期設定値です。

設定項目	選択肢	参照
画質・サイズ	F2560, N2560, F2048, N2048, F1280, [N1280], N640	P.57
フォーカス	[AF], MF, スナップ, ∞	P.59
測光方式	[マルチ], 中央, スポット	P.63
シャープネス	シャープ, [標準], ソフト	P.62
連写	[OFF], 連写, S 連写, M 連写	P.73
オートブラケット	[OFF], ON, WB-BKT	P.64
長時間露光	[OFF], 1 秒, 2 秒, 4 秒, 8 秒	P.66
インターバル撮影	_____	P.67
音声付き撮影	[OFF], ON	P.71
日付入れ撮影	[OFF], 日付, 日時	P.70
露出補正	-2.0 ~ +2.0	P.50
ホワイトバランス	[AUTO], (屋外), (曇天), (白熱灯), (蛍光灯), (ワンプッシュ)	P.51
ISO 感度	[AUTO] , ISO64, ISO100, ISO200, ISO400, ISO800	P.53
スローシャッター速度制限	[OFF], ON	P.69
撮影設定初期化	_____	P.72

メモ

撮影設定メニューからセットアップメニューを表示することができます。詳しくは、P.92 を参照してください。

撮影設定メニューの操作方法

1. 撮影できる状態で、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

2. ▲▼ボタンを押して、設定項目を選ぶ

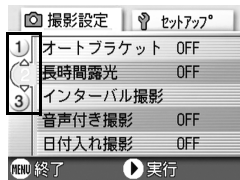
設定項目は 3 画面あります。

一番下の項目で ▼ ボタンを押すと、
次の画面が表示されます。



画面番号で画面を切り替えるには

- ① ◀ ボタンを押すと、画面左側にある画面番号が選択できるようになります。
- ② 画面番号が選択できる状態で ▲▼ ボタンを押すと、画面を切り替えることができます。
- ③ 画面を切り替えたら、▶ ボタンを押して、設定項目の選択へ戻ります。



3. 設定項目を選択したら、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

設定項目の選択肢が表示されます。

4. ▲▼ボタンを押して、選択肢を選ぶ

5. OK ボタンまたは▶ボタンを押す

6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、撮影できます。

露出を変えるには (露出補正)

静止画の写りを全体的に明るくしたり、暗くしたりするのが露出の設定です。

通常、撮影範囲の中央に被写体があると自動的に逆光補正を行い、適切な露出で撮影できます。

ただし、次のような場合や、意図的に露出を変えて撮影をしたいときには、露出を変更して撮影することができます。なお、露出は、-2.0 ~ +2.0 までの間で設定できます。露出は、+ になるほど明るくなり、- になるほど暗くなります。

逆光撮影の場合

背景が非常に明るい場合など、被写体が暗く (露出アンダー) になってしまうことがありますので、+ 側に調整します。

白っぽい被写体を写す場合

全体的に暗くなる (露出アンダー) ため、+ 側に調整します。

黒っぽい被写体を写す場合

全体的に明るくなる (露出オーバー) ため、- 側に調整します。スポットライトが当たった人物を写すときなども同様です。

設定の変更は、撮影設定メニューまたは ADJ. ボタンのいずれかを使って行います。ここでは、手順の簡単な ADJ. ボタンの操作を説明します。撮影設定メニューを使って操作する場合は、「撮影設定メニューの操作方法」(→ P.49) を参照して操作してください。

1. モード切替ダイヤルを に合わせる

2. ADJ. ボタンを押す

露出補正バーが表示されます。

3. ▲▼ ボタンを押して、値を設定する

4. OK ボタンを押す

露出補正の設定が完了し、画面右側に設定値が表示されます。








メモ

明るすぎる環境での撮影時などでは、露出オーバーとなり露出補正もできないことがあります。その場合には、「!AE」のマークが表示されます。



自然光や照明光を使うには（ホワイトバランス）

白い被写体が白く写るように調整を行います。

購入時には、ホワイトバランスは「AUTO」（自動）に設定されているので、通常は変更の必要はありませんが、単一色の被写体や、複数の光源下にある被写体を撮影するときなど、ホワイトバランスの調整がうまく合にくい場合には、設定を変更します。

選択できるモードの種類		
マーク	モード	内容
AUTO	オート	自動的に調整します。
	屋外	屋外（晴天）時、ホワイトバランスが合わないときに選択します。
	曇天	曇天や日影等で、ホワイトバランスが合わないときに選択します。
	白熱灯	白熱灯の下で、ホワイトバランスが合わないときに選択します。
	蛍光灯	蛍光灯の下で、ホワイトバランスが合わないときに選択します。
	ワンプッシュ	手動設定します。

設定の変更は、撮影設定メニューまたは ADJ. ボタンのいずれかを使って行います。ここでは、手順の簡単な ADJ. ボタンの操作を説明します。撮影設定メニューを使って操作する場合は、「撮影設定メニューの操作方法」（→ P.49）を参照して操作してください。

1. モード切替ダイヤルを  に合わせる
2. ADJ. ボタンを 2 回押す
ホワイトバランスのメニューが表示されます。
3. ▲▼ ボタンを押して、 以外のモードを選ぶ
この状態でシャッターボタンを押すこともできます。
4. OK ボタンを押す

ホワイトバランスの設定が完了し、画面にマークが表示されます。以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



ホワイトバランスを手動設定するには（ワンプッシュ）

1. モード切替ダイヤルを **📷** に合わせる

2. **ADJ.** ボタンを2回押す

ホワイトバランスのメニューが表示されます。

3. **▲▼** ボタンを押して、**M** (ワンプッシュ) を選ぶ

4. 撮影する照明の下で、紙などの白い被写体にカメラを向ける

5. **▶** ボタンを押す

ホワイトバランスが設定されます。

6. **OK** ボタンを押す

ホワイトバランスの設定が完了し、画面左上にマークが表示されます。

以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

手順5. で **▶** ボタンを押すと、設定したホワイトバランスで画面が再表示されます。思いどおりにならなかった場合には、手順4. と5. を繰り返して、何度でも設定変更ができます。



メモ

- ・オートモードの場合、被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。このようなときには、被写体に白色系のもを入れて撮影してください。
- ・フラッシュ撮影の場合、屋外、曇天、白熱灯、ワンプッシュモードでホワイトバランスが合わないことがあります。この場合は、オートモードに切り換えてフラッシュ撮影をしてください。

注意

オートモード以外の設定でフラッシュを使って撮影した際、ホワイトバランスが合わない場合があります。

撮影感度を設定するには (ISO 感度)

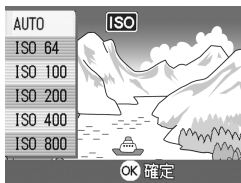
ISO 感度は、フィルムの光に対する敏感さを表す値です。数字が大きいほど高感度になります。高感度は、暗い場所や動きの速いものを撮影するときに適し、手ぶれが起こりにくくなります。ただし、画像が荒くなりザラついた感じになります。

ISO 感度は、次の6種類の設定から選択できます。
 AUTO、ISO64、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800

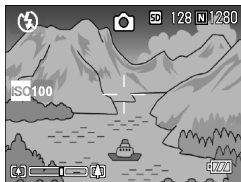
デジタルカメラの場合には、距離/明るさ/ズーム/マクロによってカメラが自動的に明るさを変化させます(AUTO)。通常は、AUTOのみまで撮影します。

設定の変更は、撮影設定メニューまたは ADJ. ボタンのいずれかを使って行います。ここでは、手順の簡単な ADJ. ボタンの操作を説明します。撮影設定メニューを使って操作する場合は、「撮影設定メニューの操作方法」(→P.49)を参照して操作してください。

1. モード切替ダイヤルを **📷** 合わせる
2. ADJ. ボタンを3回押す
ISO 感度のメニューが表示されます。
3. **▲▼** ボタンを押して、ISO 感度を選ぶ
この状態でシャッターボタンを押すこともできます。



4. OK ボタンを押す
ISO 感度の設定が完了し、画面右側に設定値が表示されます。以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



メモ

広角ズームで ISO 感度に AUTO を選択している場合は、フラッシュを使用すると ISO160 相当、フラッシュを使用しないと ISO100 相当の感度になります。

文字撮影のときの濃淡を変えるには（文字濃度）


SCENEモードの文字モードで撮影する場合の、文字の濃淡を変更することができます。

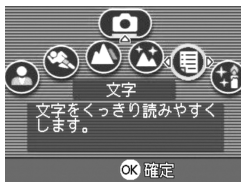
濃淡は、濃い、標準、淡いから選択できます。

設定の変更は、撮影設定メニューまたは ADJ. ボタンのいずれかを使って行います。

ここでは、手順の簡単な ADJ. ボタンの操作を説明します。

撮影設定メニューを使って操作する場合は、「撮影設定メニューの操作方法」（→ P.49）を参照して操作してください。

1. モード切替ダイヤルを  に合わせる
2. ▲ ボタンを押す
静止画モード選択画面が表示されます。
3. ▼ ボタンを押して、SCENEメニューに移動する
4. ◀▶ ボタンを押して、文字モードに合わせ、OK ボタンを押す



5. ADJ. ボタンを押す
文字濃度のメニューが表示されます。
6. ▲▼ ボタンを押して、濃度を選ぶ
この状態でシャッターボタンを押すこともできます。
7. OK ボタンを押す



文字濃度の設定が完了します。

文字濃度の設定値は画面上には表示されません。以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



文字を撮影するには→ P.33

ホワイトバランスを変化させて連続撮影するには (ホワイトバランスブラケット)

設定されているホワイトバランスの値よりも、赤みがかった画像、青みがかった画像、現在の設定値の画像の3枚が自動的に記録されます。適切なホワイトバランスが判断できない場合に使用すると便利です。

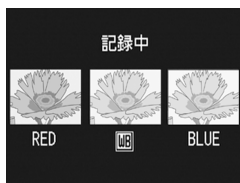
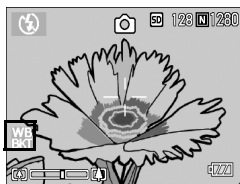
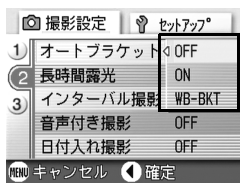
1. モード切替ダイヤルを に合わせる
2. MENU ボタンを押す
撮影設定メニューが表示されます。
3. ▼ボタンを押して[オートブラケット]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す
4. ▲▼ボタンを押して、[WB-BKT]を選ぶ

5. OK ボタンまたは◀ボタンを押す
ホワイトバランスブラケット撮影の設定が完了します。

6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す
撮影設定メニューが消え、画面に [WB-BKT] と表示されます。

7. シャッターボタンを押す

設定されているホワイトバランス値を基準に、赤みがかった画像、現在の設定値の画像、青みがかった画像で3枚記録されます。
以降、変更または電源をオフにするまで、この設定で撮影されます。



メモ

- ・連写撮影時 (P.73)、オートブラケット撮影時 (P.64) には使用できません。
- ・フラッシュは発光禁止になります。
- ・長時間露光 (P.66) の設定は OFF になります。



参照

ホワイトバランスを変更するには→ P.51

画質モード / 画像サイズを選ぶには (画質・サイズ)

記録された静止画のファイルの大きさは、画質モードと画像サイズの設定によって変わります。

画質モードには、N (Normal)、F (Fine) の2種類があります。

選択できるモードの種類		
マーク	モード	内容
	Normal モード	圧縮率は高くなりファイルのサイズは小さくなります。通常は、このモードで撮影します。
	Fine モード	圧縮率は低くなりファイルのサイズは大きくなりますが、Normal モードより高画質になります。

画質モードと画像サイズの組み合わせ

		サイズ			
		2560 × 1920	2048 × 1536	1280 × 960	640 × 480
モード	F (Fine)	F2560	F2048	F1280	—
	N (Normal)	N2560	N2048	N1280	N640

太枠内は画面に表示されるときの名称です。



参照

内蔵メモリー / SD メモリーカードに記録できる枚数 → P.145

1. モード切替ダイヤルを **📷** に合わせる

2. MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して[画質・サイズ]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して、画質・サイズを選ぶ

5. OK ボタンまたは▶ボタンを押す

画質・サイズの設定が完了します。

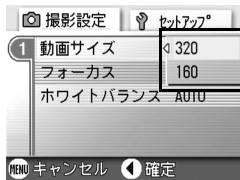


静止画モードのとき

6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、画面右上に設定値が表示されます。

以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



動画モードのとき

手動でピントを合わせて撮影する（フォーカス）

オートフォーカスでピントが合わないときには、手動でピントを合わせること（マニュアルフォーカス）ができます。

マニュアルフォーカスでは、撮影距離を固定して撮影することができます。固定の場合には、スナップまたは無限遠(∞)のいずれかに固定できます。

メモ

- ・ SCENE モードではマニュアルフォーカスは使用できません。
- ・ マニュアルフォーカスでは、マクロ撮影が必要な距離の被写体にも、ピントを合わせることができます。

1. モード切替ダイヤルを に合わせる

2. MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して[フォーカス]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して、[MF]を選ぶ

5. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

フォーカスの設定が完了します。

6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

メニューが消え、画面に MF と表示されます。

▶ ボタンを押すと、拡大表示になり、ピントを合わせやすくなります。

OK ボタンを押すと、フォーカスバースーム表示が切り替わります。マニュアルフォーカスを行うときはOK ボタンを押してフォーカスバーを表示させます。



7. [M][*]ボタンを押してピントを合わせる

[M] ボタンを押すと遠距離方向に移動します。

[*] ボタンを押すと近距離方向に移動します。

以降、設定を変更するまで、このマニュアルフォーカスで撮影されます。

メモ

- ・ OK ボタンを押すと、[M][*] ボタンでズームバーを操作することができます。
- ・ インターバル撮影時は、OK ボタンでのズーム操作、マニュアルフォーカス操作の切り替えはできません。

撮影距離を固定して撮影する

撮影距離を、近距離または無限遠に固定して、撮影することができます。

無限遠は、遠くの風景などを撮影するときに使います。

撮影距離を固定して撮影するには、次のように操作します。

1. モード切替ダイヤルを に合わせる

2. MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して[フォーカス]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して、[スナップ]または[∞] (無限遠) を選ぶ

[スナップ] を選択すると、2.5m に固定されます。

[∞] を選択すると、無限遠に固定されます。

5. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

フォーカスの設定が完了します。

6. 手順5.で◀ボタンを押した場合にはMENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、画面に設定値が表示されます。

以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。

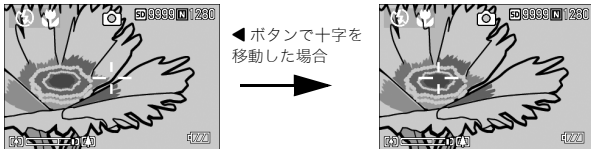


AF ターゲット移動機能を使う

マクロ撮影時には、AF ターゲット移動機能を使うことにより、カメラを動かすことなく、カメラの ▲▼◀▶ キーでフォーカスロック(→P.28)を行い、撮影ができます。

三脚を使用していて、フォーカスロックでマクロ撮影したいという場合に、便利です。

AF ターゲット移動機能では、液晶モニター中央部に表示される十字を、▲▼◀▶ キーでピントを合わせたい被写体に移動することにより、撮影します。



1. 撮影できる状態で、**♾**(マクロ)ボタンを押す

画面上側にマクロモードのマークが表示されます。

2. **ADJ.**ボタンを4回押す

ADJ. ボタンに4番目の機能を設定しているときは5回押します。

3. ▲▼◀▶キーでピントを合わせたい被写体に十字を移動する

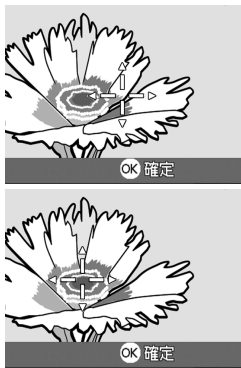
4. OK ボタンを押す

5. シャッターボタンを半押しする

十字の位置にピント合わせが行われます。


6. シャッターボタンをそのまま静かに押しきる

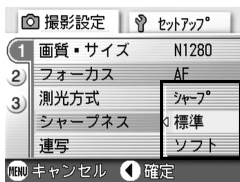
以降、マクロモードを解除するまで、AF ターゲット移動機能で設定した位置にピント合わせが行われます。



静止画の質感を変えるには（シャープネス）

静止画の質感をシャープにしたりソフトにしたりすることができます。

1. モード切替ダイヤルを  に合わせる
2. MENU ボタンを押す
撮影設定メニューが表示されます。
3. ▼ボタンを押して[シャープネス]を選び、OK ボタンまたは▶ ボタンを押す
4. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ
5. OK ボタンまたは◀ボタンを押す
シャープネスの設定が完了します。



6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、画面右側に設定値が表示されます。



以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



測光方式を変えるには（測光方式）

露出値を決めるときの測光方式（どの範囲で測光するか）を変更することができます。

測光方式には、マルチ、中央、スポットの3種類があります。

選択できるモードの種類		
マーク	モード	内容
(マーク表示なし)	マルチ	撮影範囲全体を 256 に分割して、それぞれで測光して総合的に判断します。
	中央	中央部分に重点を置きつつ、全体を測光して判断します。中央と周辺明るさが異なるときに使います。
	スポット	中央部分のみで測光して判断します。中央の明るさに強制的に合わせたいときに使います。逆光やコントラストの差が著しいときなどに役立ちます。

1. モード切替ダイヤルを に合わせる

2. MENU ボタンを押す

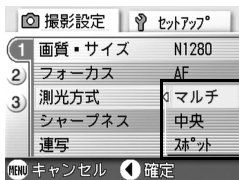
撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して[測光方式]を選びOK ボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ

5. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

測光方式の設定が完了します。



6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、設定値が表示されます。

以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



露出を変化させて連続撮影するには (オートブラケット)

オートブラケットは、設定されている露出を基準に $-0.5EV$ 、 ± 0 、 $+0.5EV$ と3段階の露出で、自動的に3枚連続して撮影する機能です。

メモ

音声付き撮影時には、使用できません。

1. モード切替ダイヤルを に合わせる
2. MENU ボタンを押す
3. ▼ボタンを押して[オートブラケット]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

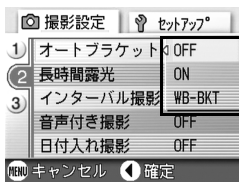
4. [ON]を選び、OK ボタンまたは◀ボタンを押す
5. 手順4.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、画面右側に [AB] が表示されます。

6. シャッターボタンを押す

設定されている露出補正値を基準に、 $-0.5EV$ 、 ± 0 、 $+0.5EV$ で3枚連続撮影されます。

撮影直後に液晶モニターに表示される3枚の静止画は、左から $-0.5EV$ (暗い)、基準の補正値、 $+0.5EV$ (明るい) です。以降、変更もしくは電源をオフにするまで、この設定で撮影されます。



参照

- ・露出補正値を変更するには→P.50
- ・ホワイトバランスを変更するには→P.51

☺ セルフタイマーを使う

セルフタイマーは、10秒後、2秒後の2種類から選択できます。手ブレを防ぎたいときには2秒に設定すると便利です。

1. モード切替ダイヤルを に合わせる

2. ☺(セルフタイマー)ボタンを押す

液晶モニター中央に、一瞬セルフタイマーのマークが大きく表示され消えた後、左側にセルフタイマーのマークが表示されま

す。マークの右側にある「10」は秒数を示しています。この状態でシャッターボタンを押すと、10秒後に撮影されます。



3. シャッターボタンを押す

ピントが固定され、フラッシュが発光し、セルフタイマーがスタートします。

シャッターが切れると、セルフタイマーのモードが解除されます。

メモ

- ・☺（セルフタイマー）ボタンは、1回押すごとに、10秒→2秒→セルフタイマー解除→10秒→2秒→・・・と切り替わります。
- ・セルフタイマーの設定は、電源をオフにすると解除されます。
- ・2秒の場合は、セルフタイマー表示用のフラッシュは発光しません。

長時間露光を設定するには（長時間露光）

長時間露光は、1秒、2秒、4秒、8秒から選択できます。

長時間露光を設定すると、夜景を写したときに、花火や車などの被写体の軌跡を撮影することができます。

1. モード切替ダイヤルを に合わせる

2. MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して[長時間露光]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して、露光時間を選ぶ

5. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

長時間露光の設定が完了します。



6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、設定値が表示されます。

以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



メモ

- ・長時間露光を設定したときには、シャッタースピードが遅くなり、手ブレを起こすことがあります。カメラを両手でしっかり固定させるか、三脚等を使用して撮影してください。
- ・長時間露光を設定して撮影した場合、撮影中は液晶モニターの表示が消えます。

一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）

設定した時間間隔で、自動的に撮影することができます。
撮影間隔は、30秒～3時間の間で30秒単位で設定できます。

1. モード切替ダイヤルを に合わせる
2. MENU ボタンを押す
撮影設定メニューが表示されます。
3. ▼ボタンを押して[インターバル撮影]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して時間を設定する
5. ▶ボタンを押して分の設定へ移動し、▲▼ボタンを押して、分を設定する
6. ▶ボタンを押して秒の設定へ移動し、▲▼ボタンを押して、秒を設定する

7. OK ボタンを押す

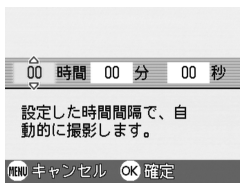
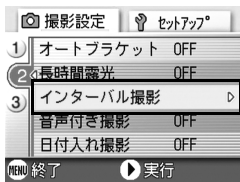
インターバル撮影の設定が完了し、画面右上部にインターバルと表示されます。

8. シャッターボタンを押す

設定した間隔で、次々に撮影されます。

9. 撮影を中止するときには、OK ボタンを押す

インターバル撮影の設定は、電源をオフにすると解除されます。



メモ

- ・手順 5. では、▲▼ ボタンを押し続けると、高速で分の数値を増減させることができます。
- ・電源に電池を使用している場合には、電池切れになることがあります。AC アダプター（別売り）の使用をお勧めします。
- ・インターバル撮影中でも、シャッターボタンを押すと通常の撮影ができます。ただし、インターバル撮影モードはそのまま保持されます。最後の撮影の後、インターバル撮影で設定した時間が経過すると次の撮影が行われます。
- ・画質モードやフラッシュモードの設定によっては、設定した時間より撮影間隔が長くなる場合があります。
- ・インターバル撮影に設定した場合は、連写の設定が [連写]、[M 連写] に設定されていても、自動的に連写 OFF に切り替わります。

シャッタースピードを制限するには (スローシャッター速度制限)

この機能を[ON]にすると、最長シャッタースピードを次の値に制限することができます。

Wide時:1/8秒

Tele時:1/30秒

[OFF]の場合の、最長シャッタースピードは、1秒です。

1. モード切替ダイヤルを に合わせる

2. MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して[スローシャッター速度制限]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

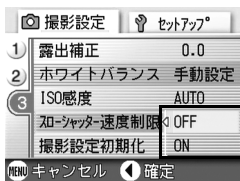
4. ▲▼ボタンを押して、[ON]または[OFF]を選ぶ

5. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

スローシャッター速度制限の設定が完了します。

6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、画面下側に設定値が表示されます。以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。




メモ

- ・長時間露光の設定時は、長時間露光が優先されます。
- ・SCENE モードの夜景モード選択時は、夜景モードが優先されます。
- ・フラッシュがスローシンクロに設定されている時は、最長シャッタースピードが1秒になります。

静止画に日付を入れるには（日付入れ撮影）

静止画の右下に日付(年/月/日)または日時(年/月/日 時:分)を入れることができます。

1. モード切替ダイヤルを  に合わせる

2. MENU ボタンを押す

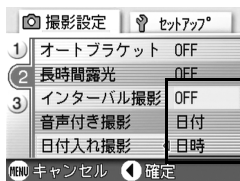
撮影設定メニューが表示されます。

3. ▼ボタンを押して、[日付入れ撮影]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

4. ▲▼ボタンを押して、設定値を選ぶ


5. OK ボタンまたは◀ボタンを押す

日付入れ撮影の設定が完了します。



6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す

撮影設定メニューが消え、画面左に

 が表示されます。

以降、設定を変更するまで、この設定で撮影されます。



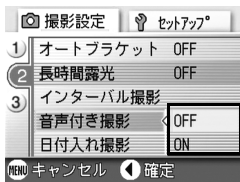
メモ

- ・日付時刻が設定されていないと日付入れ撮影はできません。まず、日付時刻を設定してください (P.104)。
- ・動画に日付を入れることはできません。
- ・サムネイル画像には、日付は表示されません。

🎤 音声付き撮影をするには（音声付き撮影）

静止画に音声を付けて撮影することができます。最大 8 秒まで記録できます。

1. モード切替ダイヤルを 📷 に合わせる
2. MENU ボタンを押す
撮影設定メニューが表示されます。
3. ▼ ボタンを押して[音声付き撮影]を選び、OK ボタンまたは▶ ボタンを押す
4. ▲▼ ボタンを押して、[ON]を選ぶ
5. OK ボタンまたは◀ ボタンを押す
6. 手順5.で◀ ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す
撮影設定メニューが消えます。
7. シャッターボタンを押して撮影する
撮影後に録音状態になります。
8. シャッターボタンを押して録音を止める



📄 メモ

音声付きの静止画を再生するには、通常の音声なしの静止画と同じ操作で静止画を表示します。OK ボタンを押すと音声再生されます。

▲▼ ボタンを押すと、音量調整バーが表示され、▲▼ ボタンの操作で音量調整ができます。

📁 参照

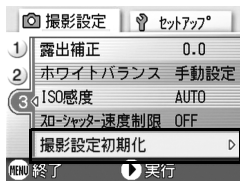
静止画を表示するには→ P.34

撮影設定メニューの設定を元に戻す (撮影設定初期化)

撮影設定メニューの設定を初期値に戻すには、次のように操作します。

1. モード切替ダイヤルを に合わせる
2. MENU ボタンを押す
3. ▲▼ ボタンを押して[撮影設定初期化]を選び、OK または ► ボタンを押す
4. [はい]が選ばれていることを確認して、OK ボタンを押す

初期化中のメッセージが表示され、完了するとモードの画面に戻ります。



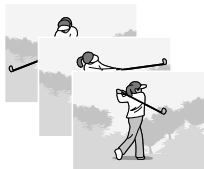
電源をオフにしても設定値が保持される機能一覧→ P.144

連写で撮る

連写に設定すると、連続撮影ができます。
連写には 次の3種類があります。

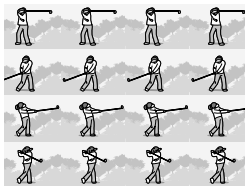
連写

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。
静止画は通常の撮影時と同じように、1枚ずつ記録します。



S(ストリーム)連写

シャッターボタンを一气押しした瞬間から撮影間隔 1/7秒で約2.2秒間(16枚)連続撮影します。16枚の静止画を1組にして、1つの画像ファイル(2560×1920ピクセル)として記録します。

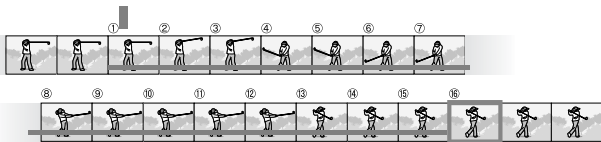


M(メモリー逆戻り)連写

シャッターボタンを離した瞬間からさかのぼった約2.2秒を連続撮影します。

16枚の静止画を1組にして、1つの画像ファイル(2560×1920ピクセル)として記録します。

②約2.2秒間さかのぼって記録




①ここでシャッターを離すと...

メモ

- ・ S 連写 / M 連写のときは、ISO 感度を 64,100 に設定しても AUTO になります。
- ・ 連写を使って撮影するときの連続撮影可能枚数は、画像サイズにより異なります。

F2560	N2560	F2048	N2048	F1280	N1280	N640
3 枚	3 枚	3 枚	3 枚	13 枚	13 枚	13 枚

1. モード切替ダイヤルを  に合わせる
2. MENU ボタンを押す
撮影設定メニューが表示されます。
3. ▼ボタンを押して [連写] を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す
4. ▲▼ボタンを押して、[連写]、[S連写]、[M連写]のいずれかを選ぶ
5. OK ボタンまたは◀ボタンを押す



6. 手順5.で◀ボタンを押した場合には、MENU ボタンを押す
撮影設定メニューが消え、画面上側にマークが表示されます。



連写のとき

7. 構図を決めて、シャッターボタンを押したままにする
シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
8. シャッターボタンを離して連写を終了する
連写を再生するには、再生モードにして (→ P.34)、◀▶ ボタンで再生したい静止画を選択します。

S 連写のとき

7. 構図を決めて、シャッターボタンを押す
自動的に 16 枚連続して撮影されます。

M 連写のとき

7. 構図を決めて、シャッターボタンを押したままにする
カメラが被写体を記憶 (メモリー) します。
8. シャッターボタンを離す
連写が終了し、直前の約 2.2 秒間 (16 枚) を 1 枚の静止画として記録します。

メモ

- ・通常の 1 枚ごとの撮影に戻したいときには、上記の手順 1. ~ 3. を行い、手順 4. で [OFF] を選択して OK ボタンを押します。
- ・M 連写では、シャッターボタンを押しはじめてから、2.2 秒以内にシャッターボタンを離した場合は、シャッターボタンを押してから離すまでが撮影記録されます (連続撮影枚数は、16 枚より少なくなります)。
- ・フラッシュは、発光禁止になります。

S 連写 / M 連写した静止画を拡大して見る

S 連写、M 連写で撮影した静止画(16 枚 1 組になった画像ファイル)を表示している際、16 枚の中の 1 枚(コマ)を拡大表示することができます。拡大表示後は、1 コマずつコマ送りすることもできます。

S 連写、M 連写で撮影した 1 コマを拡大表示して見るには、次のように操作します。

1. 再生ボタンを押す

最後に撮ったファイルが表示されます。

2. ◀▶ ボタンを使って S 連写または M 連写で撮影した静止画を表示する

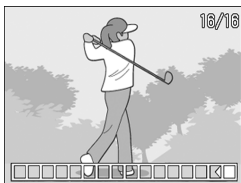


3. Q (拡大表示) ボタンを押す

連写した先頭の 1 コマが拡大表示されます。

液晶モニターの下部にはコマ位置を示すバーが表示されます。

◀▶ ボタンを押すと、コマを移動することができます。16 枚の表示に戻すには、OK ボタンを押します。



メモ

DISP ボタンを押すたびに、液晶モニター下部のバーの表示、グリッドガイド表示、表示なしを切り替えることができます。

参照

S 連写、M 連写で撮影するには→ P.73

動画を撮影・再生する

📷 動画を撮影する

音声付き動画を撮影できます。

画像サイズは、320×240、160×120のいずれかが選択できます。撮影した動画は、1つのAVIファイルとして記録されます。

1. モード切替ダイヤルを 📷 (動画モード) に合わせる

2. シャッターボタンを押す

動画の撮影が開始されます。

次にシャッターボタンを押すまで撮影されます。

3. シャッターボタンを押して撮影を停止する



2

いろいろな撮りかた・再生をしたいとき

🚨 注意

- ・動画撮影中に操作音が記録されることがあります。
- ・1回あたりの撮影可能時間は、お使いのカードにより異なります。また撮影可能時間内でも、お使いのカードによっては、撮影を終了する場合があります。

📄 メモ

- ・フラッシュは発光禁止になります。
- ・動画撮影中、ズーム機能は、デジタルズームのみ使用できます。
- ・手順2.でシャッターボタンを押した時点で、ピント合わせが行われ、ホワイトバランスが固定されます。
- ・残り記録時間は、動画記録中にメモリーの残容量から再計算されるため、一様に変化しないことがあります。

📁 参照

- ・動画の画像サイズを変更するには→P.57
- ・デジタルズームについて→P.30

動画を再生する

動画を再生するには、次のように操作します。

1. 再生ボタンを押す

最後に撮ったファイルが表示されます。
動画の場合には、最初の1フレームが静止画像で表示されます。

2. ◀▶ ボタンで見たい動画にする

- ▶ ボタンを押すと、次のファイルを表示できます。
- ◀ ボタンを押すと、1つ前のファイルを表示できます。



3. OK ボタンを押す

再生が始まります。
液晶モニターに、再生経過を示すインジケーターや経過時間が表示されます。

早送り	再生中に [F] ボタンを押す
巻き戻し	再生中に [B] ボタンを押す
一時停止 / 再生	OK ボタンを押す
スロー再生	一時停止中に [F] ボタンを押し続ける
スロー戻し	一時停止中に [B] ボタンを押し続ける
次のフレームの表示	一時停止中に ▶ ボタンを押す
前のフレームの表示	一時停止中に ◀ ボタンを押す
音量を調節する	再生中に ▲▼ ボタンを押す

用語説明

動画のフレーム

動画のフレームはコマともいいます。動画はたくさんのフレームで構成され、それらが高速で表示されるために動いているように見えます。

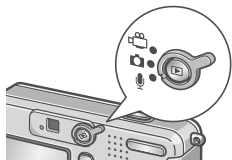
音声を記録・再生する

🎤 音声を記録する

音声を記録することができます。

記録した音声は、WAVファイルとして記録されます。

1. モード切替ダイヤルを 🎤(音声モード)に合わせる



2. シャッターボタンを押す

音声の記録が開始されます。

3. シャッターボタンを押して記録を終了する



📄 メモ

音声を記録できる時間は SD メモリーカードの容量により異なります。記録時間は、下表のようになります。

容量	記録時間
12MB (内蔵メモリー)	26 分 10 秒
32MB	64 分 38 秒
64MB	132 分 13 秒
128MB	267 分 17 秒
256MB	532 分 38 秒
512MB	1073 分 11 秒

音声を再生する

音声を再生するには、次のように操作します。

1. 再生ボタンを押す

最後に撮ったファイルが表示されます。

2. ◀▶ ボタンで再生したい音声ファイル(スピーカーの絵の画面)にする

▶ ボタンを押すと、次のファイルを表示できます。

◀ ボタンを押すと、1 つ前のファイルを表示できます。

3. OK ボタンを押す

再生が始まります。



早送り	再生中に [F] ボタンを押す
巻き戻し	再生中に [B] ボタンを押す
一時停止 / 再生	OK ボタンを押す
音量を調節する	再生中に ▲▼ ボタンを押す

再生モード時のその他の機能

再生設定メニューについて

再生メニューを使うと、次の表にある機能が使用できます。

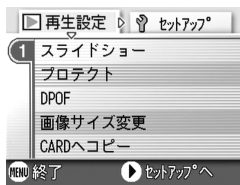
設定項目	選択肢	参照
スライドショー	—————	P.82
プロテクト	1 ファイル選択・解除、全ファイル選択・解除、複数 ファイル選択	P.83
DPOF	1 ファイル選択・解除、全ファイル選択・解除、複数 ファイル選択	P.86
画像サイズ変更	1280, 640	P.89
CARD ヘコピー	—————	P.90

メモ

再生設定メニューからセットアップメニューを表示することができます。詳しくは、P.92 を参照してください。

再生メニューの操作方法

1. 再生ボタンを押して、再生モードにする
2. MENU ボタンを押す
再生メニューが表示されます。
3. ▲▼ボタンを押して、設定項目を選ぶ
4. 設定項目を選択したら、OK ボタンまたは▶ボタンを押す
各機能の画面が表示されます。



自動的に順に表示する（スライドショー）

撮影した静止画や動画、音声を、順番に液晶モニターに表示することができます。この機能をスライドショーと呼びます。スライドショーで見るには、次のように操作します。

1. 再生ボタンを押す

最後に撮ったファイルが表示されます。

2. MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。

3. [スライドショー]が選択されていることを確認し、OK ボタンまたは▶ ボタンを押す

スライドショーが開始され、ファイルが順に再生されます。

途中で中止したいときには、カメラのいずれかのボタンを押します。

中止するまで、繰り返しスライドショーが続きます。



メモ

- ・ 静止画は、3秒ごとに表示されます。
- ・ 動画は、1フレームだけではなく、撮影した内容がすべて表示されます。
- ・ 音声ファイルも再生されます。

削除できないように設定する（プロテクト）

記録したファイルを誤って削除してしまわないように、保護する（プロテクトする）ことができます。

注意

プロテクトしたファイルは、削除することはできませんが、初期化を行った場合には、プロテクト設定の有無にかかわらず、すべて消去されます。

ファイルをプロテクトする

1. 再生ボタンを押す

最後に撮ったファイルが表示されます。

2. ◀▶ ボタンを押してプロテクトしたいファイルを表示する

3. MENU ボタンを押す

再生設定メニューが表示されます。

4. ▼ ボタンを押して、[プロテクト]を選び、OK ボタンまたは▶ ボタンを押す



5. [1ファイル]が選ばれていることを確認して、OK ボタンを押す



プロテクトが設定され、画面の左上にプロテクト設定を示すマークが表示されます。



すべてのファイルにプロテクトする

すべてのファイルにプロテクトを設定するには、次のように操作します。

1. 再生ボタンを押す
2. MENU ボタンを押す
再生メニューが表示されます。
3. ▼ボタンを押して、[プロテクト]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す
4. ▲▼ボタンを押して、[全ファイル]を選ぶ



5. [選択]が選ばれていることを確認して、OK ボタンを押す

プロテクトが設定され、画面の左上にプロテクト設定を示すマークが表示されます。すべてのファイルのプロテクトを解除するには、プロテクトの設定の手順 5. で [解除] を選択します。



メモ

すべてにプロテクトが設定されている場合だけでなく、複数のファイルに設定されているプロテクトを一度に解除することもできます。

複数のファイルを一度にプロテクトする

選択したファイルに対して、一度にプロテクトの設定を行うには、次のように操作します。

1. 再生ボタンを押す

2. ㊦(サムネイル表示)ボタンを押す

画面が6分割されて、ファイルのサムネイルが表示されます。

3. ▲▼◀▶ボタンを押して、プロテクトしたい1枚目のファイルを選ぶ

4. MENUボタンを押す

再生メニューが表示されます。

5. ▼ボタンを押して、[プロテクト]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す

6. ▲▼◀▶ボタンを押して、次にプロテクトの設定をしたいファイルを選び、OKボタンを押す

ファイルの右上にプロテクト設定のマークが表示されます。

7. 手順6.を繰り返して、プロテクトの設定をしたいファイルをすべて選択する

間違えた場合は、そのファイルでOKボタンを再度押すと選択が解除されます。

8. MENUボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると、一覧の画面に戻ります。



メモ

複数のファイルのプロテクトを解除するには、上記の手順で、解除したいファイルを選択して実行します。

参照

サムネイル表示の詳細について→ P.35

プリントサービスを利用する (DPOF : ディーポフ)

SD メモリーカードに記録した静止画は、デジタルカメラプリントサービス取り扱い店にお持ちいただくと、プリントすることができます。

プリントサービスを利用するには、プリントに必要な情報を設定する必要があります。その設定をDPOF(ディーポフ)設定と呼びます。DPOF 設定を行うと、1 静止画につき 1 枚印刷するという情報が設定されます。

ただし、複数の画像を選択して一度に設定する場合には、印刷枚数を指定できます。

表示している静止画に DPOF 設定する

1. 再生ボタンを押す
2. 設定したい静止画を表示する
3. MENU ボタンを押す
再生設定メニューが表示されます。
4. ▼ボタンを押して、[DPOF]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す



5. [1 ファイル]が選ばれていることを確認して、OK ボタンを押す

DPOF 設定が行われ、画面の左上に DPOF 設定を示すマークが表示されます。



メモ

1 枚ずつ DPOF 設定を解除するには、設定と同じように操作します。

すべての静止画に DPOF 設定する

すべての静止画に対して DPOF 設定をするには、次のように操作します。

1. 再生ボタンを押す
2. MENU ボタンを押す
再生メニューが表示されます。
3. ▼ボタンを押して、[DPOF]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す
4. ▲▼ボタンを押して、[全ファイル]を選ぶ

5. [選択]が選ばれていることを確認して、OK ボタンを押す

DPOF 設定が行われ、画面の左上に DPOF 設定を示すマークが表示されます。



メモ

- すべての静止画の DPOF 設定を解除するには、設定の手順 5 で [解除] を選択します。
- すべてに DPOF 設定されている場合だけでなく、複数の静止画の DPOF 設定を一度に解除することもできます。

複数の静止画に DPOF 設定する

選択した静止画に対して、DPOF 設定を行うには、次のように操作します。

1. 再生ボタンを押す

2. ㊄(サムネイル表示)ボタンを押す

画面が6分割されて、静止画が縮小して表示されます。

3. ▲▼◀▶ボタンを押して、DPOF設定したい1枚目の静止画を選ぶ

4. MENUボタンを押す

再生メニューが表示されます。

5. ▼ボタンを押して、[DPOF]を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押す



6. ▲▼ボタンを押して印刷枚数を指定する

▲ボタンを押すと枚数が増え、▼ボタンを押すと枚数が減ります。

7. ▶▶ボタンを押して、次にDPOF設定をしたい静止画を選ぶ

8. ▲▼ボタンを押して印刷枚数を指定する

▲ボタンを押すと枚数が増え、▼ボタンを押すと枚数が減ります。

9. 手順7.~8.を繰り返して、DPOF設定をしたい静止画をすべて選択する

10. MENUボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると、一覧の画面に戻ります。

画像サイズ縮小する（画像サイズ変更）

撮影した静止画の画像サイズを縮小して、画像サイズの異なるファイルを追加作成できます。

注意

画像サイズ変更ができるのは、静止画および音声付きの静止画です。動画は画像サイズ変更できません。

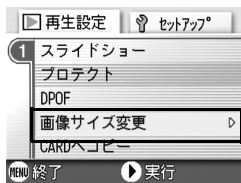
メモ

可能な画像サイズ変更は、次の種類です。

元のサイズ	変更可能なサイズ	
F2560/N2560/F2048/N2048	N1280	N640
F1280/N1280		N640

画像サイズを変更するには、次のように操作します。

- 再生ボタンを押す
- MENU ボタンを押す
再生設定メニューが表示されます。
- ▼ボタンを押して、[画像サイズ変更]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す
- ▲▼ボタンを押して、[1280]または[640]を選ぶ
- OK ボタンを押す
画像サイズ変更が行われ、画像サイズ変更によって作成された静止画が表示されます。



参照

撮影時の画像サイズを変更するには→ P.57

内蔵メモリーの内容をカードへコピーする (CARD へコピー)

内蔵メモリーの内容を SD メモリーカードへコピーすることができます。

1. 電源をオフにする
2. SDメモリーカードをセットする
3. 電源をオンにする
4. 再生ボタンを押す
5. MENU ボタンを押す
再生設定メニューが表示されます。
6. ▼ボタンを押して、[CARD へコピー]を選び、OK ボタンまたは▶ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、コピーが完了すると、再生画面に戻ります。



メモ

- ・コピー先の SD メモリーカードの容量が足りない場合には、容量不足を示すメッセージが表示されます。容量に収まる枚数だけコピーする場合には [はい] を選んで OK ボタンを押してください。コピーを取り消す場合には [いいえ] を選んで OK ボタンを押してください。
- ・SD メモリーカードから内蔵メモリーへのコピーはできません。